

8
トラブル事例

不正アクセスで検挙



他人のID、パスワードを使ってオンラインゲームにログイン

インターネットのオンラインゲームを通じて知り合った中高生から、ゲームで使用するアイテムなどの交換を条件に、IDやパスワード、クレジットカード番号などの個人情報を聞き出したし君。その情報を使ってゲームサイトに不正アクセスし、パスワードを変更して彼らがサイトにアクセスできないようにしたうえ、他人のクレジットカード情報を使ってゲームで使用するアイテムや10万円相当の仮想通貨を購入。自分自身の個人情報は伝えていないため捕まらなれど考えていたが、すぐに犯人と特定されて「不正アクセス禁止法違反」などの容疑で検挙されてしまった。

- 生徒の皆さんへ
- 自分の個人情報を安易に人に教えない
- 他人のID、パスワード、クレジットカード情報などを無断で使用することは犯罪



【ログイン】個別のユーザーID（アカウント）とパスワードを入力して、インターネット上のサービスを利用することが手続きのこと。最近では、ある1つのネットサービスにログインすれば、他のネットサービスも利用することができる「アカウント連携機能」が普及してきている。

不正アクセス禁止法違反の被疑者は、約40%が未成年者

警察庁によると、平成24年1年間に不正アクセス禁止法違反で検挙された154人のうち、約40%にあたる64人が未成年者でした。不正アクセス後には、オンラインゲームやコミュニケーションサイトの不正操作を行うことが多いほか、なりすましやアイテムの盗み取りを行う者もいます。

保護者の予防対策

- 「不正アクセス行為」は犯罪であることを教える

他人の鍵や財布を拾った場合に、それらを勝手に使ってはいけないように、他人のパスワード、クレジットカード番号などの情報を入力しても、勝手に使ってはいけないことを教えます。 「不正アクセス行為」はれっきとした犯罪であることをしっかりと理解させましょう。

- 他人のパスワードを人に教える行為も犯罪になることを認識させる

他人のパスワードや自分が管理者でない複数人で共用しているパスワードを他人に漏らすことは、「不正アクセスを助長する行為」として法律で禁止されています。

- 子どもがインターネットで何をしているか把握する

子どもとインターネットの利用状況について話し合い、インターネットでどんなことをしているのか把握しておきましょう。

情報化が進むと
便利な反面、
こうした犯罪も
増えて心配ね

悪いコトはしないし、
されないようにも
気をつけてるよ



博士からのひとこと

「不正アクセス行為」、
「不正アクセスを助長する行為」は、
「犯罪」であることをしっかりと教えるのじや。



【不正アクセス禁止法】「ID・パスワードの不正な使用」や「そのほかの攻撃手法」によってアクセス権限のないコンピュータへのアクセスを行うことを犯罪として定義したもの。無断で他人のID、パスワード等を第三者に提供するだけでも罪となる。